



# 1 年学年通信

= 保護者版 7月号 =

七尾高校 第1学年  
令和6年 7月 2日

7/1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日
	野球・水泳・吹奏楽壮行式			海産生物実習(15H)	総合学カテ スト (全員受験です)	
8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日
	マリンサイエンス(15H・全日)			マリンサイエンス発表会	バイオプラスチックワークショップ「ぶらつなぎ」(希望者)	
15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日
海の日	40分授業	全国総体総文・合唱壮行式	理数科・文フロ 中間発表会	終業式 離任式 大掃除 (午前中通常授業)		
22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日
前期夏期補習 (~31日まで・平日のみ)	外務省「高校講座」(1年生)	体験入学(補習なし。手伝いなどで参加する生徒有)	保護者懇談会① (11H~14Hのみ)	保護者懇談会② 親と子の対話集会		
29 月	30 火	31 水	8/1 木	2 金	3 土	4 日
保護者懇談会③		保護者懇談(15Hのみ P M)	保護者懇談(15Hのみ 全日)			
5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日
	関西サイエンスツアー(~7日 希望者)					
12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日
山の日 学校閉庁日①	学校閉庁日②	学校閉庁日③	学校閉庁日④	学校閉庁日⑤		
19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日
後期夏期補習(~28日 午後七高祭準備)				先端科学実験施設研修(希望者 全日)		
26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土	9/1 日
				七高祭① (文化祭①)	七高祭② (文化祭② 授業日)	七高祭③ (体育祭① 授業日)

## 1. 夏休みの過ごし方について

- 7/19(金)終業式後から夏期休業に入ります。全員対象の前期補習7日間、後期補習8日間があるほか、8月末の七高祭に向けての準備、部活動の大会および遠征、オープンキャンパス参加など、夏休みとはいえ、生徒によっては大変な過密スケジュールになることがあります。
- 保護者の皆様にご注意いただきたいのは、主に①生活リズム ②食事 ③体調管理の3点です。
- 1学期で身につけた朝型の生活リズムが、夏休み期間に昼夜逆転の生活を送るなどして、崩れてしまう。食欲も湧かず、軽食やお菓子などで食事を済ませてしまう。暑さにやられ、睡眠不足もあり調子を崩す。このように2学期からの学校生活を自ら難しくしてしまう生徒もいます。
- 夏休みは心身を休める機会でもありますが、自らをより一層高めることのできる、大きなチャンスでもあります。勉強も、進路学習も、部活動も、プライベートも、すべてを充実させて、一回りも二回りも、1年生の生徒が成長してくれることを期待しています。保護者の皆様も、お子様が前向きな気持ちで夏期休暇を過ごすことのできるよう、毎日の見守りと声掛けをお願いします。

## 2. 保護者懇談会について

- 7/25(木)26(金)29(月)の3日間(15Hは31日(水)と8/1(木)の2日間)で保護者懇談を実施いたします。現在提出いただいた出欠表をもとに、日程表を作成中です。後日、担任から日程表が配付されます。急遽予定が合わなくなった場合などは、担任までお知らせください。
- また、懇談時には、1学期の成績表もお渡しします。成績に関してこちらからお話することもあります。主にお子様のご家庭でのご様子や気になることなどを皆様とお話できればと思います。1学期の締めくくりとして、有意義な会にしていきたいと思っております。

## 3. 6月を振り返って

- 6月は非常に早く過ぎ去ってしまったように感じます。総体総文期間が終わってすぐに、校内球技大会を実施しました。次週には北信越大会に参加する生徒も多く、その後すぐに考査発表、文化講演会、1学期期末考査と生徒にとっても教職員にとってもあっという間に過ぎた6月だったように思います。
- 7月6日(土)には高校入学後の初めての記述模試「総合学力模試」を受験します。この模試はベネッセ主催で全国の高校3,000校あまり、45万人を超える高校1年生が受験します。
- 「なぜ模試をわざわざ土日に登校して受験しないといけないのですか?」と、過去に高校3年生のクラスを受け持っていたときに、ある生徒から問われました。その生徒は進学か就職かで悩んでいた生徒で、就職に向けた面接練習もセンター試験に向けた教科学習も両方せねばならない時期で、大変忙しく、休みがないことが不満なようでした。
- その時は、「とりあえず進路が明確でないなら目の前の試験をがんばりなさい」などと言ったかと思っております。今思い返すと、彼はきっと模試を受けたくないという意味よりも、自らが受験するうえで納得できる何か欲しかったのではないかなと思います。
- これは模試に限らず、あらゆる物事においてそうだと思います。進路選びも部活動の練習も友達と一緒に遊ぶ時も、それぞれが「納得」できなくては何かしらの心残りを持ったまま行動していくこととなります。
- その「納得」はどうやってできるのか。難しい課題ですが、一つ確かに言えることは、他人から言われた事に対して、人間はそうそう簡単には納得できないということです。納得することは内発的な行いであり、きっかけが外部にあっても、最終的にはその人の内面で腑に落ちる感覚がないと「納得」はできません。腑に落とすためには、自らその考えを咀嚼しないといけません。何も考えずに飲み込むのではなく、ある考えを咀嚼して自らのものにする。その努力を生徒とともにしていきたいと思っております。



校内球技大会



NNC



総体・総文